



2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年1月28日

上場会社名 ジーエフシー株式会社
 コード番号 7559 URL <https://gfc-jp.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西村 公一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部部長兼財務経理部 管掌 (氏名) 丹羽 淳
 TEL 058-387-8181

四半期報告書提出予定日 2022年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	13,998	6.3	132		215		156	
2021年3月期第3四半期	13,164	40.8	300		230		211	

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 147百万円 (%) 2021年3月期第3四半期 214百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	28.21	
2021年3月期第3四半期	38.18	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	23,018	16,271	70.6
2021年3月期	18,603	16,251	87.3

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 16,271百万円 2021年3月期 16,251百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		23.00	23.00
2022年3月期		0.00			
2022年3月期(予想)				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,630		32		122		67		12.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	5,769,040 株	2021年3月期	5,769,040 株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	240,234 株	2021年3月期	240,234 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	5,528,806 株	2021年3月期3Q	5,528,806 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の9月末での解除による活動制限の緩和により、経済活動にも緩やかな回復の兆しがみられた一方で、新たな変異株の発生など感染再拡大のリスクは解消されず、景気の先行きは不透明な状況が続きました。

外食産業におきましては、営業時間や酒類提供の制限等の緩和や解除により、若干の明るさが見えたものの、断続的に続く各種制限の影響は依然として大きく、極めて厳しい経営環境が続きました。

このような状況の中、当社グループにおいては、長引くコロナ禍における政府・自治体からの要請に対応しながら、更なる企業価値向上を目指して、珍味・和食・お節に関わる業務用食材の開発及び販売というコア事業の強化を推進すると同時に、中食や老健、通販業界などの新規事業分野の開拓や経営環境の変化に合わせた経営管理の高度化に注力してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高139億98百万円（前年同四半期比6.3%増）、営業利益1億32百万円（前年同四半期は営業損失3億円）、経常利益2億15百万円（前年同四半期は経常損失2億30百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億56百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失2億11百万円）となりました。

なお、当社グループは、業務用加工食材事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は、230億18百万円（前連結会計年度末は186億3百万円）となり、44億15百万円増加いたしました。現金及び預金の減少（81億6百万円から70億85百万円、10億20百万円減）並びに投資有価証券の減少（13億37百万円から9億27百万円、4億10百万円減）があったものの、受取手形及び売掛金の増加（15億76百万円から70億84百万円、55億7百万円増）並びに有価証券の増加（12億50百万円から16億50百万円、4億円増）が主な要因であります。

(負債の状況)

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は、67億47百万円（前連結会計年度末は23億51百万円）となり、43億95百万円増加いたしました。支払手形及び買掛金の増加（9億26百万円から48億4百万円、38億77百万円増）並びに短期借入金金の増加（5億9百万円から9億10百万円、4億1百万円増）が主な要因であります。

(純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、162億71百万円（前連結会計年度末は162億51百万円）となり、20百万円増加いたしました。剰余金の配当1億27百万円があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益1億56百万円が主な要因であります。なお、2021年11月26日開催の臨時株主総会決議に基づき2021年11月29日付で資本金の額の減少を実施し、資本金が22億44百万円減少、資本剰余金が22億44百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が1億円、資本剰余金が45億39百万円となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2021年5月14日に公表いたしました業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（2022年1月28日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,106,541	7,085,891
受取手形及び売掛金	1,576,554	7,084,159
有価証券	1,250,000	1,650,000
商品及び製品	1,100,441	1,105,855
原材料及び貯蔵品	93,107	68,997
その他	72,055	68,094
貸倒引当金	△3,620	△5,630
流動資産合計	12,195,080	17,057,367
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	573,980	531,340
機械装置及び運搬具（純額）	70,569	70,033
土地	3,706,311	3,706,311
その他（純額）	82,818	57,675
有形固定資産合計	4,433,679	4,365,360
無形固定資産	63,425	63,561
投資その他の資産		
投資有価証券	1,337,712	927,242
繰延税金資産	225,155	197,859
退職給付に係る資産	197,963	214,724
その他	167,708	202,639
貸倒引当金	△17,589	△10,040
投資その他の資産合計	1,910,949	1,532,425
固定資産合計	6,408,053	5,961,347
資産合計	18,603,134	23,018,715

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	926,911	4,804,121
短期借入金	509,000	910,000
1年内返済予定の長期借入金	31,480	17,190
未払法人税等	38,725	21,303
賞与引当金	68,943	34,453
役員賞与引当金	5,318	3,600
その他	220,676	408,231
流動負債合計	1,801,054	6,198,899
固定負債		
長期借入金	212,120	200,000
役員退職慰労引当金	91,883	95,854
退職給付に係る負債	169,402	173,963
その他	77,223	78,473
固定負債合計	550,629	548,291
負債合計	2,351,683	6,747,191
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,344,021	100,000
資本剰余金	2,295,156	4,539,178
利益剰余金	11,961,946	11,990,793
自己株式	△351,467	△351,467
株主資本合計	16,249,656	16,278,504
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,033	△5,326
為替換算調整勘定	△2,239	△1,652
その他の包括利益累計額合計	1,793	△6,979
純資産合計	16,251,450	16,271,524
負債純資産合計	18,603,134	23,018,715

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	13,164,228	13,998,336
売上原価	10,836,539	11,336,035
売上総利益	2,327,689	2,662,301
販売費及び一般管理費	2,628,116	2,529,649
営業利益又は営業損失(△)	△300,426	132,652
営業外収益		
受取利息	17,610	16,908
受取配当金	4,306	4,938
受取賃貸料	5,915	7,877
補助金収入	26,800	52,093
為替差益	2,231	—
その他	15,920	10,935
営業外収益合計	72,783	92,753
営業外費用		
支払利息	2,601	3,150
賃貸収入原価	—	588
為替差損	—	6,641
営業外費用合計	2,601	10,379
経常利益又は経常損失(△)	△230,244	215,026
特別利益		
固定資産売却益	—	8
特別利益合計	—	8
特別損失		
固定資産除却損	176	17
特別損失合計	176	17
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△230,421	215,017
法人税、住民税及び事業税	33,226	30,601
法人税等調整額	△52,546	28,405
法人税等合計	△19,320	59,007
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△211,100	156,010
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△211,100	156,010

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△211,100	156,010
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,707	△9,359
為替換算調整勘定	318	586
その他の包括利益合計	△3,388	△8,773
四半期包括利益	△214,489	147,236
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△214,489	147,236
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年11月26日開催の臨時株主総会決議に基づき2021年11月29日付で資本金の額の減少を実施し、資本金が2,244,021千円減少、資本剰余金が2,244,021千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が100,000千円、資本剰余金が4,539,178千円となっております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、財又はサービスを他の当事者によって提供されるように手配する取引について、従来は総額で収益を認識しておりましたが、代理人として純額で収益を認識する方法に変更しております。また、有償支給に該当する取引について、従来は有償支給した原材料等について消滅を認識しておりましたが、買い戻す義務を負っている場合、当該原材料等の消滅を認識しない方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は880,664千円減少、売上原価は880,658千円減少、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ5千円減少しております。また、利益剰余金期首残高に与える影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる影響はありません。